

NEC
PC-9800シリーズ

ビジュアル統計ソフト

Stat Flex

スタットフレックス



USER'S MANUAL

入門編



マニュアルの構成と利用法	3
パッケージ内容とサービス体制	4
第1章 はじめに	9
序	10
1.1 開発のコンセプト	12
1.2 "StatFlex" の機能とその特徴	13
1.2.1 ビジュアル統計機能	13
1.2.2 入力編集機能	14
1.2.3 グラフ編集機能	15
1.2.4 統計情報の編集・出力機能 (簡易ワープロ機能)	16
1.2.5 簡易計算機能	16
1.2.6 その他の便利な機能	17
1.3 StatFlexにおけるデータの取り扱い	18
1.3.1 データの形式は何?	18
● StatFlexにおける統計処理の指定方式: 他のソフトとの違い	19
1.3.2 データ形式と入力表の仕様	20
● データ形式1 (独立多群形式)	20
● データ形式2 (関連多群形式)	22
● データ形式3 (多変量形式)	24
● データ形式4 (計数値形式)	26
● データが1群の時のデータ形式は?	27
1.3.3 StatFlexの数値条件	28
● 最大データ数	28
● 有効桁数	28
1.4 マニュアルに使用される用語について	29
第2章 StatFlexの動作条件と起動	33
2.1 動作条件と周辺機器との接続	34
2.1.1 StatFlexの動作環境	34
● 対応機種 (本体とメモリー構成)	34
● MS-DOSのバージョン	34
2.1.2 システムディスクについて	34
2.1.3 ユーティリティディスクについて	35
● StatFlexのハードディスクへの組み込み	36
● StatFlexを、ユーザー独自でディスクドライブに組み込む場合の注意事項	39
● RAMディスクの利用に関して	40
2.1.4 データディスクについて	41
2.1.5 プリンタの利用に関して	41
● 利用できる機種	41
● プリンタバッファについて	41
2.2 システムの起動と終了	42
2.2.1 起動の方法	42
● すでにMS-DOSが起動されている場合 (他のアプリケーション実行後)	43
● ハードディスクからStatFlexを実行する場合	43

2.2.2 主メニューでの機能選択	44
2.2.3 システムの終了	44
2.2.4 再起動	45
第3章 トレーニング	47
3.1 データの入力と保存	48
3.1.1 新規ファイルの作り方	48
● 例題によるデータ入力法トレーニング	52
3.1.2 データの保存	54
● パスワード付き保存	55
3.2 保存データの編集	56
● 再編集するときの読み込み	56
● 読み込んで、統計処理を行うとき	57
3.3 演習で学ぶ簡単な統計計算	59
演習① 独立した2群の統計処理 (Mann-Whitney 検定)	60
演習② 独立した多群の統計処理-1 (一元配置分散分析と全組合せの二標本t検定)	64
演習③ 独立した多群の統計処理-2 (Kruskal-Wallis 検定)	68
演習④ 関連2群の統計処理 (Wilcoxon 検定)	72
演習⑤ 関連多群の統計処理-1 (2元配置分散分析)	75
演習⑥ 関連多群の統計処理-2 (Friedman 検定)	79
演習⑦ 多変量の統計処理 (回帰直線と全組合せの相関)	82
第4章 より高度な機能とその利用法	87
4.1 入力編集機能	88
4.1.1 編集形式を調整するには	88
● 入力方向の切り換え	90
● グラフの自動表示	90
● 群 (列) 名の表示	90
● データ (行) 名の表示	90
● 行・列合計の表示	91
● 桁揃え表示	91
● 小数位の自動設定	91
● 編集終了後の行先	91
● 行・列・ページ名の自動属性設定の形式	91
● カーソル移動幅の切り換え (中移動時)	91
4.1.2 データ属性 (行・列・ページ名) を入力するには?	92
● データ (行) 名の入力 ($\text{SHIFT} + f \cdot 1$)	92
● 群 (列) 名の入力 ($\text{SHIFT} + f \cdot 2$)	92
● ページ名の入力 ($\text{SHIFT} + f \cdot 3$)	92
● 変数属性の入力 ($\text{SHIFT} + f \cdot 4$)	92
● データ属性の自動割付法 ($\text{SHIFT} + f \cdot 5$)	92
4.1.3 ブロック処理機能の使い方	93
● データを行・列単位で部分消去するには	93
● データをセル単位で部分消去するには	94

● データを部分コピーするには	95
● データを部分移動するには	96
● データを行、列ページ単位に削除するには	96
● 行・列・ページを挿入するには	97
● データの並べ換え	98
4.2 グラフ編集機能	100
4.2.1 自動描画法とその調整	100
● データの特定部分を拡大して表示するには	100
● 自動描画形式の細部を調整するには	102
● 別のグラフを重ね書きするには	104
● 自動グラフ形式を変更するには	107
4.2.2 グラフの修正法	108
● 追加書き込み（レタリング機能）	108
● 部分消去	110
4.2.3 グラフを印刷するには	111
4.2.4 グラフの保存と読み込み法	112
4.2.5 マウスの使用法	113
4.3 統計情報の編集・印刷（簡易ワープロ）機能	114
4.3.1 ワープロ機能とは	114
4.3.2 統計情報の記録と参照	115
● 情報記録の切り換え	115
● 見えない部分を参照するには	116
● 記録単位（ブロック）、ページ単位で情報を見直すには	117
4.3.3 統計情報の編集	118
● 削除するには	118
● 移動やコピーをするには	119
● 文字を入力するには	120
4.3.4 統計情報の出力	121
● 情報をファイルに書き出すには	121
● ページ区切りの方法	122
● 情報をプリンタに打ち出すには	122
● 終了するには	124
4.4 その他の便利機能	125
4.4.1 ガイド機能	125
4.4.2 ヘルプ機能	126
4.4.3 便利なキー操作	127
● StatFlexの各操作に共通しているキー	127
● 統計処理用便利キー	127
● グラフ編集用便利キー	127
● 統計情報編集用（ワープロ機能）の便利キー	128
● データ入力・編集用便利キー	128
INDEX	131

第1章

はじめに

序

1.1 開発のコンセプト

1.2 StatFlexの機能とその特徴

1.3 StatFlexにおけるデータの取り扱い

1.4 用語について